

ビルトイン IHクッキングヒーター 据付説明書

SANYO

トッププレート幅75cm
品番 JIC-B72AS

トッププレート幅60cm
JIC-B62AS

安全上のご注意

- 据付の前に、この『安全上のご注意』をよくお読みのうえ正しく据え付けてください。
 - ここに示す注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので必ず守ってください。
- その表示を無視して、誤った取り扱いをすることによって生じる内容を、次のように区分しています。

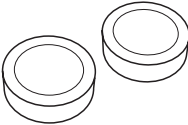
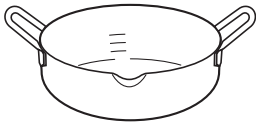
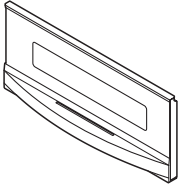
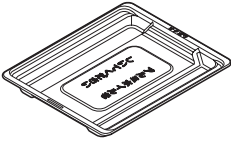
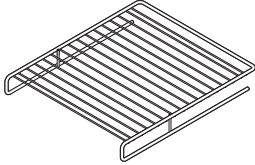
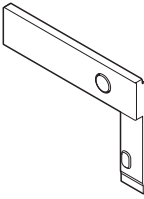
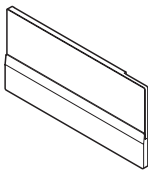
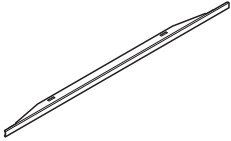
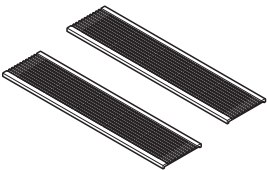
	警告	死亡または重傷を負うおそれがある内容を示しています。
	注意	けがをしたり財産に損害を受けるおそれがある内容を示しています。
  		してはいけないことを表しています。
 		しなければならないことを表しています。

- 据付完了後、試験運転を行い、異常がないことを確認するとともに取扱説明書にそって、お客様に使用方法、お手入れの仕方を説明してください。
 - ガス機器から付け替える場合は、ガス事業者に連絡しないでガス工作物(ガス配管、ガスメーター、ガス栓など)を無断で撤去することは法令により規制されています。事前にガス事業者へ依頼してください。また閉栓はガス事業者に依頼してください。
- この説明書は必ずお客様にお渡しいただき、取扱説明書・保証書とともに保管いただくように依頼してください。

 警告	 必ず実施	据付は、据付説明書に従い確実に行う ●据付に不備があると、漏電・火災の原因になります。
	 必ず実施	電源は200V・30A以上の専用回路と漏電しゃ断器を設置する また、電源プラグ(250V-30A)に合った専用コンセントを単独で使用する ●この工事をしないと、配線部が異常発熱するおそれがあり、感電・火災の原因になります。
	 必ず実施	電気配線工事は、電気設備技術基準等関連法令・規則等に従って必ず「法的有資格者」が行う ●接続・固定が不完全な場合は、漏電・火災の原因になります。
	 アース線 接続	アース工事は、電気設備技術基準等関連法令・規則等に従って必ず「法的有資格者」によるD種接地工事を行う ●アースが不完全な場合は、故障や漏電のときに感電のおそれがあります。
	 分解禁止	絶対に分解・修理・改造は行わない ●火災、けが、感電の原因になります。 ※トッププレートを取り外さないでください。 ※電源コードの直付けはしないでください。
	 禁止	トッププレートに衝撃を加えない ●ひびが入ったり割れた場合、過熱・異常動作・感電の原因になります。 ※トッププレートの上に乗ったり物を落としたりしないでください。
 注意	 接触禁止	試験運転中は、トッププレートやグリル扉など高温部に触れない ●やけどのおそれがあります。
	 必ず実施	ワークトップの材料は、耐熱材料のものを使う ●熱硬化樹脂化粧板(JIC K 6903)またはこれと同等以上のもの。 耐熱性の低いものを使用すると、変形・火災の原因になります。 ※ニス引きのものは変色するため、使わないでください。

付属品

- 保証書が同梱されていることをご確認ください。
- 包装材料を取り外し、下記付属品が同梱されていることをご確認ください。

つまみ（2個）	天ぷらなべ（1個）	グリル扉（1個）	受け皿（1個）	焼き網（1個）
				
飾りカバー（1個）	操作部カバー上（1個）	操作部カバー下（1個）	飾り金具（1個）	吸・排気口カバー（2個）
				

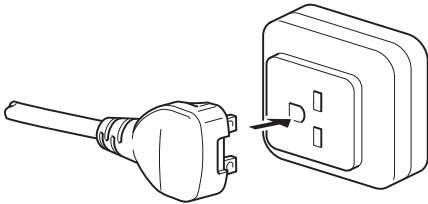
※受け皿、焼き網は、グリル庫内に同梱されています。

1 電気工事及び接地工事

- 電気工事は、必ず「電気工事士」の免許をお持ちの方が行ってください。
- 電気工事や接地工事は「電気設備技術基準」、「内線規定」に準じてください。

- 電源はブレーカー付きの専用回路（単相200V・30A以上）を設けてください。
 - ・三相200Vには、絶対に接続しないでください。（故障の原因になります）
- 漏電しゃ断器は必ず設置してください。
 - ・漏電しゃ断器：定格電流30A、感度電流30mA
- 電源コンセントを設置してください。
 - ・単相3線式定格250V・30A（一極接地用）
推奨コンセント：明工社製 ME8586（埋込型）
パナソニック電工製 WF3630B（埋込型）・WK36301B（露出型）
 - ・電源コードの直付けは絶対にしないでください。

（コンセント差込形状）



- ・電源コンセントの取付け位置は『3 システムキッチンとの関係寸法図』を参照ください。
- アース工事を必ず行ってください。（D種接地工事）
 - ・コンセントの一極接地用に配線してください。
 - アース工事は、ガス管・水道管・避雷針・電話のアースに接続しないでください。
- 屋内配線用電線は、線径φ2.6mm以上のものを使用してください。

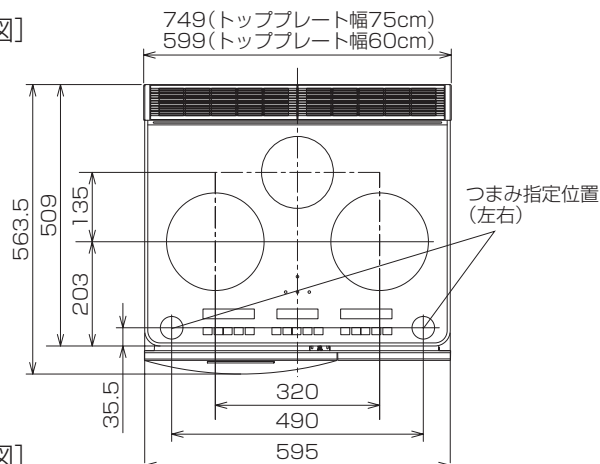
お願い

- 電源電線及びアース線は、プラグを外して直結しない
- 漏電やショートによる感電・火災の原因になります。
- プラグの刃及び刃の周辺にほこりが付着していないことを確認し、ガタのないよう根元まで確実に差し込む
- ほこりが付着したり、接続が不完全な場合は、感電・火災の原因になります。

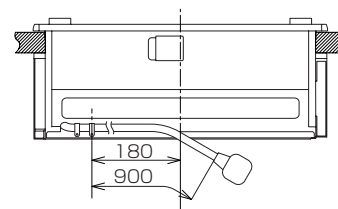
2 製品外形寸法図

(単位：mm)

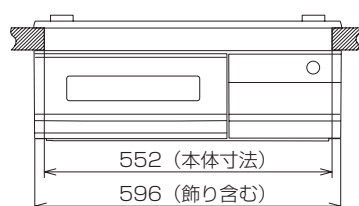
[上面図]



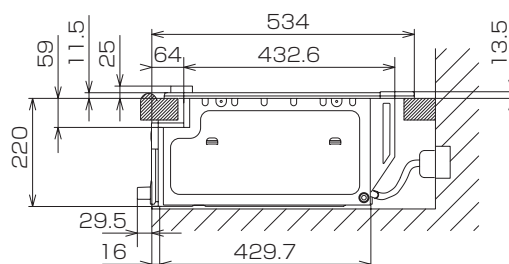
[背面図]



[正面図]



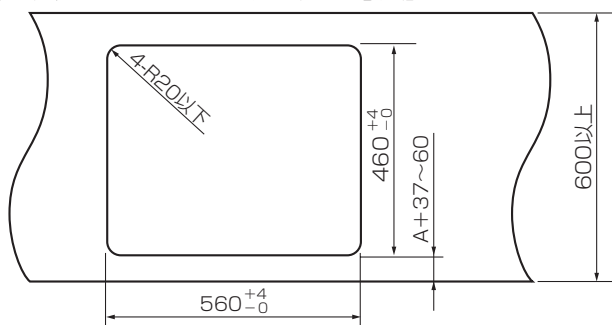
[側面図]



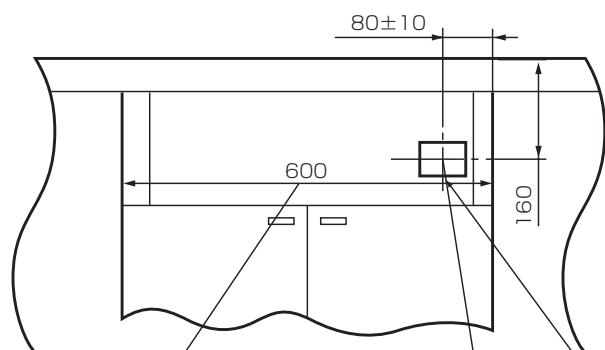
3 システムキッチンとの関係寸法図

(単位：mm)

[取付け穴：ワークトップ切り込み寸法]

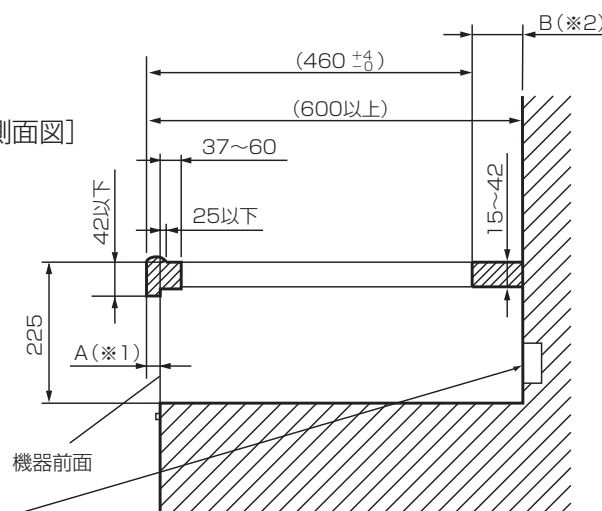


[正面図]



前面より奥行20mm以上は600mm幅の空間が必要です。

[側面図]



キッチン背面の壁のこの位置にコンセントを設けてください。



コンセントの向きに注意してください。
(アース端子を左側に向けて取付けてください。)

※1 A寸法は、ワークトップ前面とキャビネット前面（機器前面）との差です。

※2 B寸法が80mm以上あれば、露出型コンセントも取付け可能です。

4 据付場所の確認

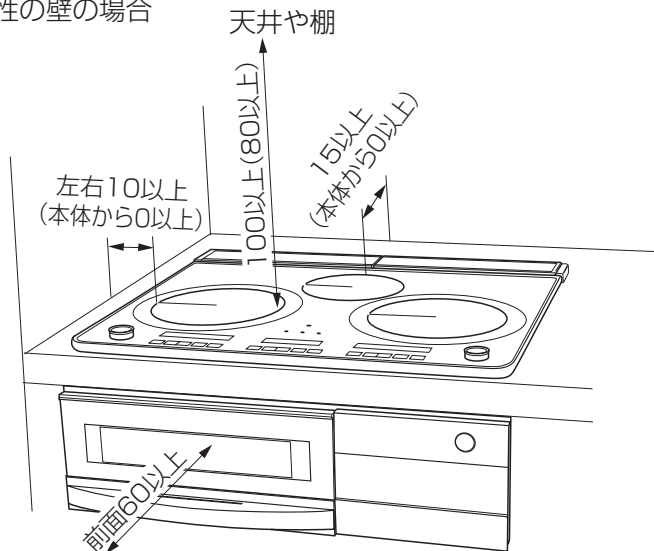
火災予防条例、電気設備技術基準省令第59条に従って設置してください。

■壁からの距離

- 器具は火災予防上、可燃性の壁（防火構造壁以外）との間を側面10cm以上、背面15cm以上、上面100cm以上離してください。また、器具の前面は60cm以上離してください。不燃性の壁の場合はその限りではありません。

周囲が可燃性の壁の場合

(単位：cm)

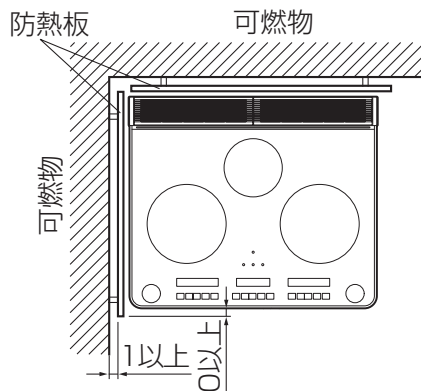


() 内は不燃性の壁または、防熱板を取付けた場合。

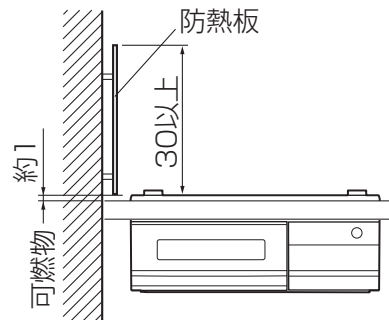
[消防法 基準適合 組込形]

※製品の前面はできるだけ広く（60cm以上）あけて
通行時や冷蔵庫・家具などの扉が当たらないようにしてください。

可燃性の壁から、上記の距離を離して据付できない場合は、防火上有効な防熱処理をしてください。



[上面]



[正面]

(単位：cm)

※防熱板はこれを設けたとき、機器周囲の木壁温度が室温35℃の時100℃を超えない
断熱性を有すること。

- 製品の金属部がシステムキッチンの金属部と接触する場合は建造物の壁中の金属（メタルラスなど）とシステムキッチンの金属部を接触しないようにするか、または、製品の金属部がシステムキッチンの金属部に接触しないように取り付けてください。
(電気設備技術基準・解釈、第5章電気使用場所の施設、第1節屋内の施設、第167条で危害なきよう設置することが定められています。)
- 本体をタイルやモルタルで塗り込まないようにしてください。点検やアフターサービスの妨げとなります。
- ワークトップは、熱硬化樹脂化粧板（JIS-K-6903）または、これと同等以上の材料が使われているか確認してください。耐熱性の低いものを使用すると、変形・火災の原因になります。
※ニス引きのものは変色するため使わないでください。
- 製品は水平に設置してください。

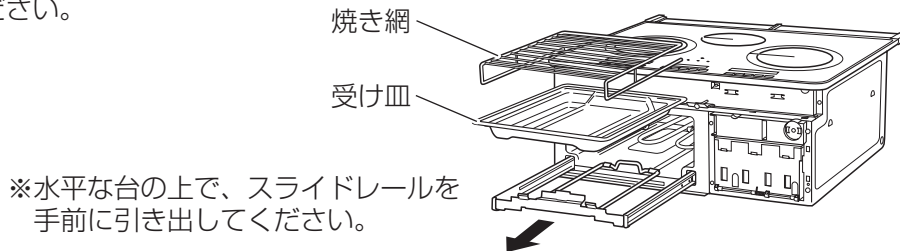
5 設置

■グリル庫内の包装材を取り除き、受け皿・焼き網を取り出す

- グリル部の止めテープを外し、受け皿・焼き網を取り出す。

■付属品を確認してください

- 設置前には、付属品（グリル扉・操作部カバー上・操作部カバー下・飾りカバー・飾り金具など）を取付けないでください。

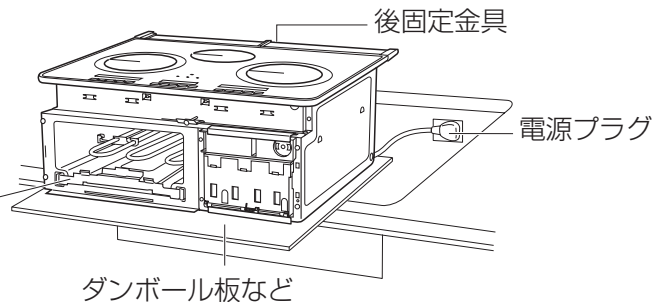


■本体の設置

1. 電源プラグをコンセントに差し込む

- ワークトップに傷を付けないように梱包用ダンボール板などを敷いてください。

※スライドレールを奥まで確実に押し込んでください。

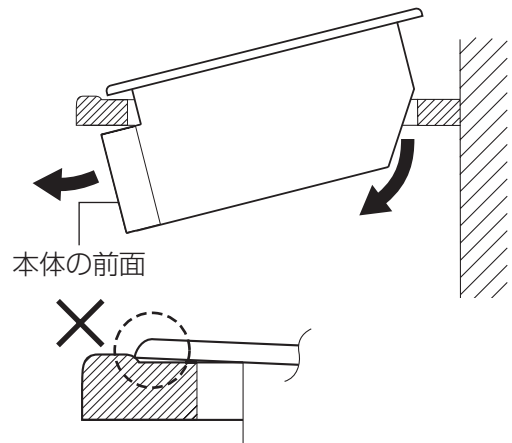


2. ワークトップに本体の前部を挿入してから全体をはめ込む

- はめ込み時、本体の前部をワークトップに当てないでください。

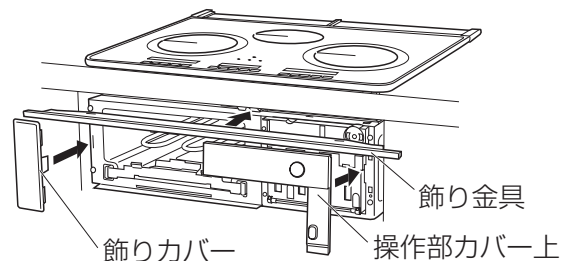
キズや塗装のはがれの原因となります。

- ワークトップの膨らみに乗り上げないようにフラット部にセットしてください。
- 電源コードを本体底面とキャビネットの間に挟まないでください。
- ワークトップと本体のトッププレートとのすき間が全周にないことを確認してください。



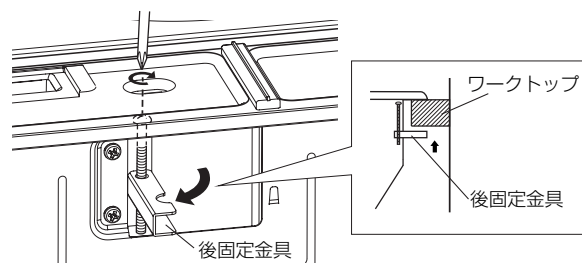
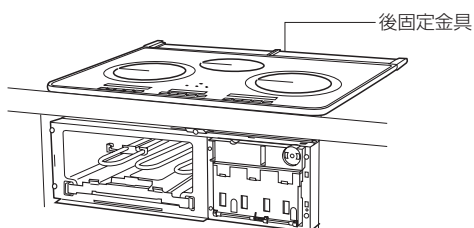
3. 本体位置を飾り金具、飾りカバーと操作部カバー上が取付けできるように調整する

- 飾り金具を奥行の長い面を下にして本体のツメ（3ヶ所）にはめ込んでください。
- 飾り金具の両端とシステムキッチンの左右側面の隙間が均一になるように本体位置を調整してください。
- システムキッチンの扉面に本体前面が合うように本体位置を調整してください。
- 本体位置が調整できたのを確認後、いったん飾り金具を外してください。（前固定金具を固定するため）



4. 後固定金具を固定する

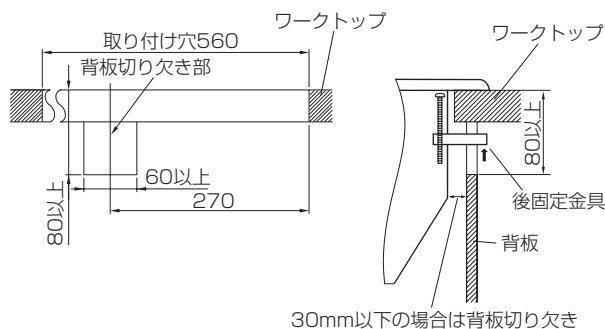
- 後固定金具を起し、ネジを締めつけて、ワークトップの裏面に固定してください。



5 設置 (つづき)

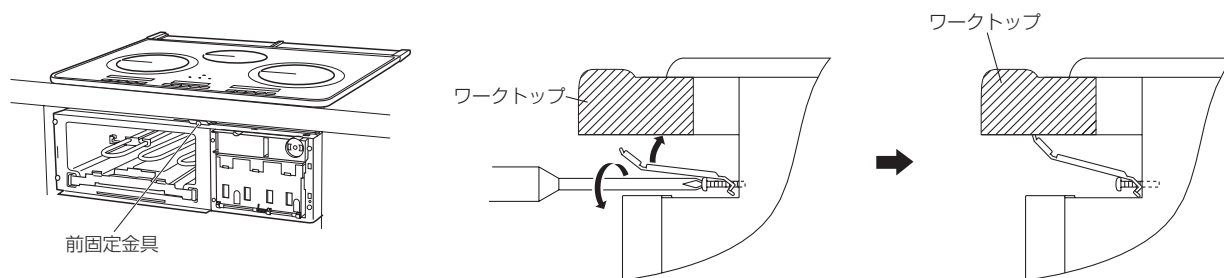
システムキッチンの後方に背板がある場合

- 背板位置がワークトップの取付穴から30mm以下の場合、後固定金具が通るよう背板に切り欠きを設けてください。



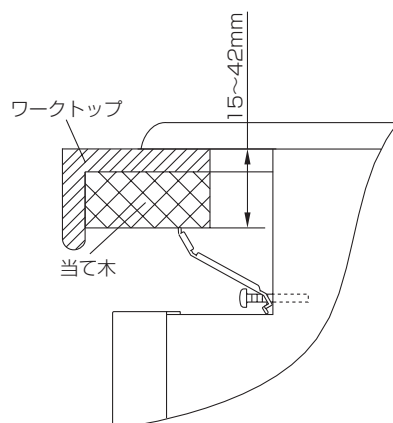
5. 前固定金具を固定する

- 前固定金具を止めているテープを外してください。
- 前固定金具をネジの上にのせるようにセットし、ネジを締めつけて、ワークトップの裏面に固定してください。
※固定時は、ドライバーの先や根元などで製品を傷付けないようにしてください。
- 固定後、本体を押して動かないことを確認してください。



ワークトップの厚みが薄い場合

- 後・前固定金具はワークトップの厚みが15～42mmに適応します。厚みが15mm以下の場合、当て木を添えてください。



■付属品・グリル扉・受け皿・焼き網を取付ける

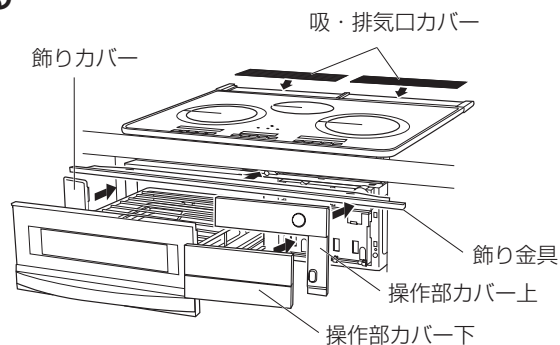
- 飾り金具を、奥行の長い面を下にして左右のツメ (3ヶ所) に確実にはめ込んでください。
- 操作部カバー上、操作部カバー下、飾りカバーの順で取付けてください。
- 吸・排気口カバーを取付けてください。
- グリル扉を取付けてください。
- 受け皿・焼き網を方向に注意して取付けてください。

(受け皿・焼き網の方向)

角穴

前脚

手前側



5 設置 (つづき)

飾りカバーを取付けるとき

- 差し込み口に中央のツメを差し込み、本体側面に上下のツメ (2カ所) をはめる。

飾りカバーを取り外すとき

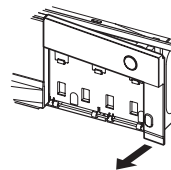
- 本体位置を前側に動かした後、左に回すようにしてツメを外し、そのまま手前に引く。

操作部カバー上を取付けるとき

- 左側、中央、右側の順にツメをはめる。

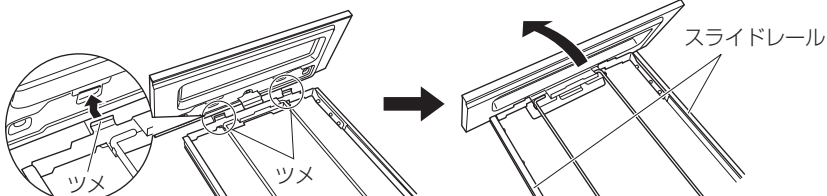
操作部カバー上を取り外すとき

- 右側下のツメを外し、手前に引っ張る。



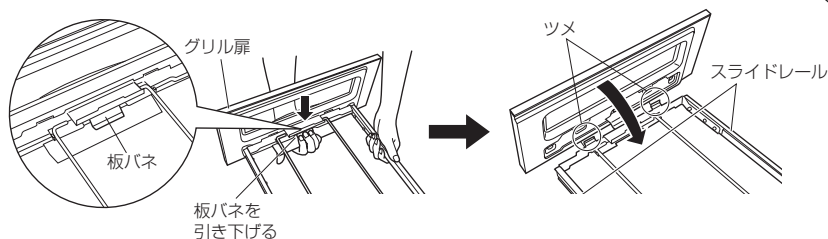
グリル扉を取付けるとき

- グリル扉をスライドレール側に倒すようにして左右のツメに差し込み、スライドレールと反対側にカチッと音がするまで起こす。



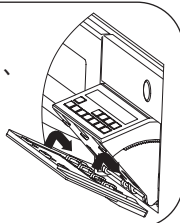
グリル扉を取り外すとき

- 取っ手の下側に手を回し、グリル扉裏側の下にある板バネを引き下げながら、グリル扉をスライドレール側に倒すようにして、持ち上げる。



操作部カバー下を取付けるとき

- 下側のツメ (4カ所) を本体凹部に、上側の凹部を本体ツメ (3ヶ所) にはめ、下方向にスライドさせる。
- ツメが確実にハマり、本体とすき間がないことを確認する。



操作部カバー下を取り外すとき

- 上方向にスライドさせ、ツメを外す。



■前パネルを必要とする場合

設置高さ270mmモジュールのキッチンに設置する場合に必要です。

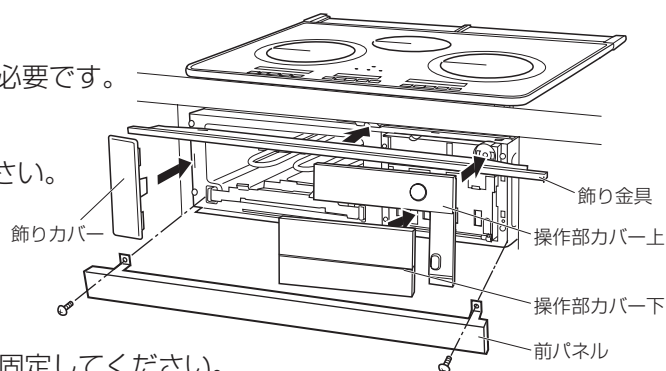
● 前パネル (別売)

部品番号: 617-299-5625

※別売の前パネルはお買い上げ販売店にお問い合わせください。

● 前パネルの取付けかた

1. 操作部カバー上、操作部カバー下、飾りカバー、飾り金具を取外してください。
2. 前パネルの左右2ヶ所をネジで固定してください。
左側は付属のネジで、右側はあらかじめ外したネジで固定してください。
3. 飾り金具、操作部カバー上、操作部カバー下、飾りカバーを取付けてください。



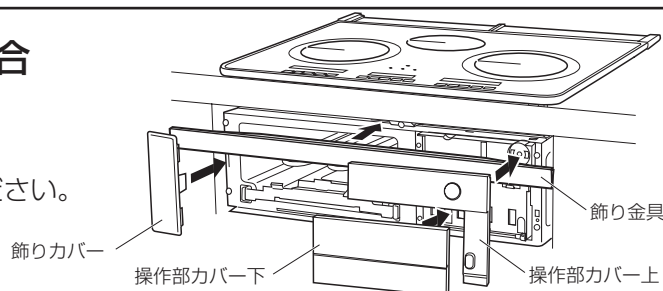
■ハーマン台専用飾り金具を必要とする場合

ハーマン製のキッチンに設置する場合に必要です。

● 飾り金具 (別売)

部品番号: 617-299-5601

※別売の飾り金具はお買い上げ販売店にお問い合わせください。



6 据付完了後の確認

■次の手順で確認し、チェック欄に✓印をしてください。

確 認 項 目			チェック
電 気 工 事	・アース工事（D種接地工事） ・漏電しゃ断器の設置 ・電源プラグの接続		
包装材の取外し	・グリル内部に包装材がないこと。		
付 属 品 の 取 付	・飾り金具の取付 ・飾りカバー・操作部カバー上・操作部カバー下の取付 ・吸・排気口カバーの取付 ・グリル扉・受け皿・焼き網の取付 ・つまみ（指定位置におく）		
外 観	・トッププレート枠が浮いていないこと。 ・トッププレートは汚れていないこと。外観にキズが付いていないこと。		
試 験 運 転	①電源電圧が単相200Vであることを確認する。 （単相100Vでは電源スイッチを入れたとき、約5秒後に左・右IH表示部・中央ヒーター表示部） に [E53] を、グリル表示部に [E3] を表示します。		
	②電源を入れる。（ブザー音が“ピッ”と鳴るまで、電源スイッチを押す。） →トッププレートの中央部の通電中ランプが点灯する。		
	③各ヒーターの動作を確認する。 ・（1）、(2)確認時は、取扱説明書に記載の使えるなべに水を入れ、IHヒーターの中央に置いてください。 （1）左・右ヒーター（IHヒーター） ・入／切キーを押す。 →ブザー音が“ピッ”と鳴る。 ・アップダウンキーを押す。 →ブザー音が“ピピッ”と鳴る。火力バー、火力表示、高温注意ランプが点灯する。加熱が始まる。しばらくするとお湯が沸く。 ・入／切キーを押す。 →ブザー音が“ピッピー”と鳴る。火力バー、火力表示、高温注意ランプが消灯する。加熱が停止する。 （2）左・右ヒーター（IHヒーター）つまみを使用 ・つまみを右方向に約1周回す。 →ブザー音が“ピッ”と鳴る。 ・つまみ停止後、約2秒間隔を置いて、つまみを回す。 →ブザー音が“ピピッ”と鳴る。火力バー、火力表示、高温注意ランプが点灯する。加熱が始まる。しばらくするとお湯が沸く。 ・つまみを取り外す。 →加熱が一時停止する。約1分後、U16 U36を表示し加熱を終了する。 （3）中央ヒーター（ラジエントヒーター） ・入／切キーを1秒間押す。 →ブザー音が“ピッ”と鳴る。 ・アップダウンキーを押す。 →ブザー音が“ピピッ”と鳴る。火力バー、火力表示、高温注意ランプが点灯する。加熱が始まる。中央ヒーターが赤熱する。 ・入／切キーを押す。 →ブザー音が“ピッピー”と鳴る。火力バー、火力表示、高温注意ランプが消灯する。加熱が停止する。 （4）グリル ・グリル操作部の“押す”文字付近を押す。 →グリル操作部が開く。 ・手動キーを押す。 →ブザー音が“ピピッ”と鳴る。 ・スタートキーを押す。 →ブザー音が“ピピッ”と鳴る。メニュー表示、火力調節表示、高温注意ランプが点灯する。加熱が始まる。しばらくするとグリル庫内が熱くなる。 ・取消キーを押す。 →ブザー音が“ピッピー”と鳴る。メニュー表示、火力調節表示、高温注意ランプが消灯する。加熱が停止する。		
	④電源を切る。（ブザー音が“ピッピー”と鳴るまで電源スイッチを押す。） →トッププレート中央部の通電中ランプが消灯する。 （トッププレートやグリル庫内が熱い間は、高温注意ランプは、点滅する。）		

- 試験運転後は、必ず電源スイッチを押して電源を切ってください。
- 試験運転で付属の天ぷらなべを使用した場合は、必ず水気を十分にとり、内側に軽く食用油をぬってください。
- 据付完了確認後は、据付説明書、取扱説明書、保証書、天ぷらなべは必ずお客様にお渡しください。また、つまみ（2個）は、必ず指定位置に置いてください。

据付完了 確認者印	
--------------	--

総消費電力の切り替えについて

本製品は総消費電力を5800W（工場出荷時の設定）・4800Wの2段階に切り替えることができます。
アンペアブレーカーの容量不足などで、ご使用上、不便があるときに選べます。

■切り替え方法

・グリル操作部の“押す”文字付近を押して開ける。

- | | | |
|--|---------------------------------|---|
| ①グリル操作部の“クリーニング”キーと“  ”キーを同時に押しながら電源スイッチを入れる。 | ⇒グリル表示部に [58] が点灯する。 | ②、③の操作で
表示部が切り替わる。
[48] ↔ [58] |
| ②グリル操作部の“  ”キーを押す。 | ⇒グリル表示部が [48] の点灯に切り替わる。 | |
| ③グリル操作部の“  ”キーを押す。 | ⇒グリル表示部が [58] の点灯に切り替わる。 | |
| ④電源スイッチを押して電源を切る。 | ⇒切り替え完了。 | |